

快テレ君 VS-T300

ワイヤレススピーカーシステム 取扱説明書

このたびは当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に本書を最後までよくお読みのうえ「安全上のご注意」に従い正しくご使用ください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために、必ずお守りください。
●ご使用前に、この「安全上のご注意」と「使用上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。

この「安全上のご注意」、「使用上のご注意」および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

	絵記号の例
 危険 この表示の欄は「人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容」を示しています。	 △記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。図の中に具体的な注意事項（左図の場合は感電注意）が描かれています。
 警告 この表示の欄は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。	 ⊘記号は禁止（やてははいけないこと）を示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
 注意 この表示の欄は「人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。	 ●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

危険

- スピーカー（受信機）は充電式電池を内蔵しています
- 火中投入、加熱、高温での充電、使用、放置をしない
- 電子レンジや電磁調理器などで加熱しない
- 強い衝撃をあてえない

- 必ず付属のACアダプターを使って充電する
- 付属以外のACアダプターで充電すると、電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

警告

- 異常があったときは、電源プラグを抜く
- 内部に金属や水などの液体が入ったとき
- 落下などで本体（外装ケース）が破損したとき
- 煙や異臭、異音が出たとき
- ACアダプターが破損・変形しているとき
- 本体に触れビリビリと電気を感じるとき
- 手で触れられないほど熱いとき
- そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

- 本機の上に植木鉢、液体入りの容器や小さな金属物を置かない
- こぼれたり、中に入ったときに火災・感電の原因になります。

- 風呂場やシャワー室では使用しない
- 火災・感電の原因になります。

- ACアダプターやスピーカー、送信機は布や布団で覆ったり、つつんだり、ホットカーペットの上やこたつの中で使用しない
- 熱がこもり、ケースが変形し、火災の原因となります。
- 風通しのいい状態で使用してください。

- この機器は、日本国内のみで使用する
- 海外では、国によって電波の使用の制限があるため、本機を使用すると、その国の法律で罰せられることがあります。

- 付属以外のACアダプターは使用しない
- 機器本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。

注意

- 油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多い場所に置かない
- 電気が油や水分、ほこりに伝わり、火災・感電の原因となることがあります。

- 不安定な場所に置かない
- 高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置いて倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因となることがあります。

- 電源を入れるときは徐々に音量を上げる
- 電源を入れたときに、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

- コンセントや配線器具の定格を超える使いや、交流100V以外での使用はしない
- タコ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となることがあります。
- 船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。

- ACアダプターが破損するようなことをしない（傷つける、加工する、無理に曲げる、熱器具に近づける、加熱する、ねじる、引っ張る、束ねる、重い物を載せるなど）
- 傷んだままの使用は、火災・感電の原因となることがあります。

- ACアダプター本体に電源コードをグルグル巻き付けて使用しない
- 異常発熱により、火災・感電の原因となることがあります。

- 本機（ACアダプター含む）を乱暴に扱わない
- 落としたり、強い衝撃を与えると、機器が壊れ、けがや火災・感電の原因となることがあります。

- ACアダプターのプラグは根元まで確実に差し込む
- 差し込みが不完全だと感電や発熱により、火災の原因となることがあります。
- 傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。

- ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らない
- コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 必ずACアダプター本体を持って抜いてください。

- ACアダプターのプラグのほこり等は定期的にする
- プラグの刃や刃の付近にほこりや金属物が付着していると、火災・感電の原因となることがあります。
- 定期的にACアダプターを抜き、乾いた布などで拭いてください。

- 異常に温度が高くなる場所に置かない
- 外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因となることがあります。
- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所、ストーブの近くでは特にご注意ください。

- 本機を使用するときは、音量をあげすぎない
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聴けば聞こえ、聴力が大きく損なわれる原因になります。

- 本機に水を入れたり、濡らさない
- 火災・感電の原因となることがあります。
- 雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

- 分解・改造しない
- 内部には電源の高い部品があり、火災・感電の原因となることがあります。
- 内部の点検・整備・修理は、販売店にご依頼ください。

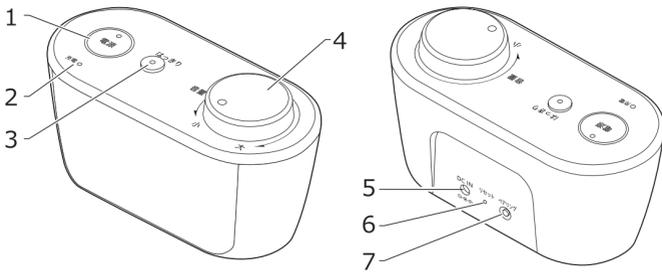
- 長時間ご使用にならないときは、必ずACアダプターをコンセントから抜く
- 火災・感電の原因となることがあります。

- 雷が鳴りだしたら、本機やコード類に触れない
- 感電の原因となることがあります。

- 次のような場所や条件で使用しない
- 病院内などの使用を禁止された場所
- 医用電気機器に近い場所（手術室・集中治療室・CCU※など）
※CCU：冠動脈疾患監視病室
- 自動ドア・火災報知器などの自動制御機器に近い場所
- 心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以内の位置
- 本機からの電波により誤動作、事故などの原因となる恐れがあります。

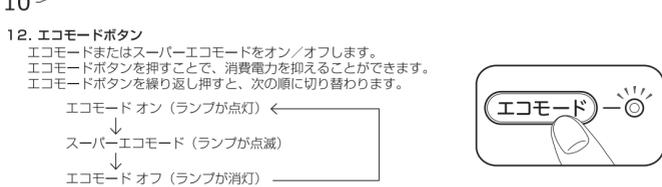
各部の名称とはたらき

- ① スピーカー（受信機）（表面）
- ② 送信機



1. 電源ボタン、電源ランプ
スピーカーユニット（受信機）の電源をオン/オフします。電源をオンにすると電源ランプが青色で点灯します。
2. 充電ランプ
充電を開始すると赤色に点灯します。充電が完了すると充電ランプは消灯します。
3. はっきりボタン
テレビなどの音声聞き取りにくい場合に、聞こえやすくします。オンにするとはっきりランプが青色で点灯します。
4. 音量ダイヤル
音量の調節ができます。

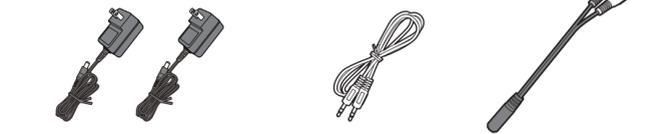
8. DC IN 端子
付属のACアダプターを接続して充電します。
9. 音声入力端子
付属の接続コード（オーディオケーブル）を使用してテレビに接続します。
10. ペアリングボタン
スピーカーユニット（受信機）とペアリングする際に使用します。
11. エコモードランプ
12のエコモードボタンを押してエコモードがオンになると、緑色に点灯または点滅します。



- ・エコモードまたはスーパーエコモードをオンにした場合、消費電力を抑える代わりにスピーカー（受信機）の無線到達範囲が狭くなります。エコモードまたはスーパーエコモードに設定をして、音声が届かなくなる場合は、設定をオフにしてください。

13. 電源ランプ
電源が接続されていると青色に点灯します。

- ③ ACアダプター（スピーカー用/送信機用）
AD200F5V0UMR-01-0
同一製品ですので、区別なく使用できます。
- ④ 接続コード
WU02SB01951-R-01-5
- ⑤ 変換コード
WU03SB1952C-R-01-2



- ・取扱説明書（本書、1部）

電池についての安全上のご注意

電池は使用形態や使用環境、保存状態などによって、液漏れ・破裂・発熱・発火などで、けがや機器故障の原因となることがありますので、下記の注意事項を必ずお守りください。

- 本機では以下の電池を内蔵しています。
- ・ 充電式電池 専用充電式リチウムイオン電池

危険 充電式の電池の液が漏れたときは…

- 素手で液を触らない
- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で十分に洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。

危険 充電式電池について

- 付属のACアダプター以外で充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光の当たるところ・炎天下の車中など、高温になる場所で使用・保管・放置しない。
- ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。

 **お願い**
使用済み充電式リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
本製品を廃棄する場合は充電電池の取り外しをお客様自身で行わず、弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。

電波に関するご注意

- <送信機・スピーカーユニット（受信機）の使用について>
- ・送信機・スピーカー（受信機）の使用可能距離は、送信機とスピーカーの間に障害物がない状態で、約100 m以内です。送信機とスピーカーの距離が離れていたり、次のような障害物があると電波が届かなくなり、音声が途切れたり、スピーカーが使用できないことがあります。

- 【電波を届きにくくする障害物】
- ・鉄筋、鉄骨を使用した建物や構造物
- ・コンクリート壁、トタン製の壁
- ・金属の扉、金属線入りのガラス
- ・金属製のついた断熱材が入った壁
- ・金属製の壁や家具 など

- <音声の途切れや雑音を避けるために>
- ・送信機がファクシミリ・テレビ・冷蔵庫・蛍光灯・スピーカー（受信機）・パソコンなどと相互に影響を及ぼす場合は3 m以上離すか、電源を別のコンセントに接続してください。
- ・磁気や蛍光灯などは、スピーカー（受信機）の音が途切れる原因となります。
- ・他の機器（携帯電話など）の充電器やACアダプターなどは、スピーカー（受信機）の音が途切れる原因となることがあります。
- ・送信機の周りに物を置かないでください。送信機の内部にアンテナが内蔵されていますので、スピーカー（受信機）に電波が届きにくくなります。

- <電波雑音の影響を避けるために>
- CS デジタル放送をご利用の方へ

CSデジタル放送のアンテナ伝送路（分波器、分配器、接続ケーブル）のシールドが不十分な場合、本機の電波がCSデジタル放送のアンテナ伝送路に混入して、CSデジタル放送の画像が乱れる原因になることがあります。

- シールド性の高い衛星放送対応の分波器や分配器、接続ケーブルをお使いいただくことで影響を軽減できる場合があります。
- <電波について>
- 本機は、1895.616 MHz ~ 1904.256 MHz の帯域を使用する無線設備です。本機には、1.9 GHz 帯を使用するデジタルコードレス電話の無線局の無線設備で、時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話を示す右記のマークが表示されています。



1. 本機は同一周波数を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、弊社から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機のACアダプターを抜いて、弊社お問い合わせ窓口にご連絡いただき、混信回避のための措置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
2. その他、何かお困りのことが起きたときは、弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

ご注意 NOTICE
この製品は日本国内向けに製造されたもので、電圧100Vで動作します。海外では、無線通信や電源電圧の規格が異なりますので、ご使用にはなりません。
For Japanese standards only. This set operates on AC100 V. Due to different standards of radio communication and different power requirements, this set cannot be used outside of Japan.

- <お手入れ>
- ⚠️**注意** お手入れの際は、安全のためにACアダプターをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因になることがあります。

- <アフターサービスについて>

- ⚠️**警告** 万一、煙が出ている、変なにおいや音があるなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐにACアダプターをコンセントから抜き、内部などを開けずに煙が出なくなるのを確認して弊社お問い合わせ窓口または販売店に修理をご依頼ください。特に、製品本体が異常に熱くなっている場合は、やけどの危険性がありますので、絶対に触らないでください。お客様による修理、確認などは危険ですので、絶対におやめください。

- 廃棄するときのお願い
- 本機は充電電池を内蔵しています。本機を廃棄する場合は、充電電池の取り外しをお客様自身で行わず、弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。

長年ご使用のワイヤレススピーカーシステムの点検を！	
 愛情点検 このような症状はありませんか ・ ACアダプター、コードが異常に熱くなる。 ・ ACアダプター、コードにさげめやひび割れがある。 ・ 電源が入ったり切れたりする。 ・ 本体から異常な音、熱、煙、臭いが出る。	ご使用中止 故障や事故防止のためすぐに使用を中止し、ACアダプターをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

保証とアフターサービス

- 保証書（下記）について
- 保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。保証書に販売店名や購入日の記載がない場合は、本製品のご購入の際に受け取られた、購入日が明記されている購入証明書（レシート、納品書、受注メールなど）が必要となります。保証書とともに大切に保管してください。

保証期間はご購入日から1年間です。

- 補修用性能部品の最低保有期間
- この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後6年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

- 連絡していただきたい内容
- ご住所 ●製品名：ワイヤレススピーカーシステム ●お買い上げ日
- お名前 ●型番：VS-T300 ●故障の状況（できるだけ詳しく）
- 電話番号

- 保証期間中は：
- 修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

- 保証期間が過ぎているときは：
- 修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

お問い合わせ窓口

修理、取り付け、他の製品との接続などに関しては、お買い求めの販売店へお問い合わせください。お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合は、下記窓口へお問い合わせください。

【お問い合わせ窓口】

- 「オトモアお客様相談窓口」 ☎050-3381-5133
- サービス・お問い合わせ
<https://www.otomoa.com/product/support/>
- こちらからもアクセスできます→



保証書		持込修理
機種	VS-T300	製造番号 本機に記載
お名前		電話番号
お客様様	〒	様 ()
お買上げ日	取扱販売店名・住所・電話番号	
年 月 日		
保証期間（お買上げ日より）		
本体	1年	

本書は、本書記載内容で無償修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に万が一故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店または下記のお問い合わせ窓口にて修理をご依頼ください。

- お客様へお願い
- お手数ですが、ご住所、お名前、お電話番号をご記入ください。ご購入時の購入証明書（レシートなど）の添付がある場合、お買い上げ日、取扱販売店名の記載に代えることができます。お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用して頂く場合がございますので、ご了承ください。

- <無料修理規定>
- 1. 取扱説明書、本体付ラベル等の注意に従った使用状態で故障した場合には、お買上げの販売店または弊社が無償修理いたします。
- 2. 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げの販売店または弊社お問い合わせ窓口にご依頼ください。
- 3. ご転居、ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。
- 4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (1) 使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷
 - (2) 本体の破損や水没、落下等、お客様の過失による故障および損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧等による故障および損傷
 - (4) 一般家庭以外（例えば、業務用の長時間使用、車庫・船舶への搭載など）に使用された場合の故障および損傷
 - (5) 消耗品（各部ゴム、電池、コード、キャリングケース等）の交換
 - (6) 本書の提示のない場合
 - (7) お買上げ年月日、販売店が確認できない場合
 - (8) 本書のお買上げ年月日、お客様名、販売店名を書き換えた場合
 - (9) 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合
 - (10) 劣悪な設置条件（油煙、熱、塵、水、直射日光等）にて使用し故障した場合
- 5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので紛失はしないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店またはお問い合わせ窓口へご相談ください。

令和4年5月現在
記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

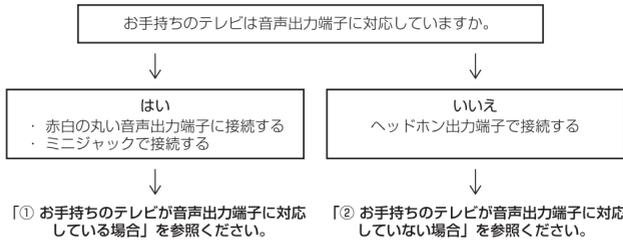
オトモア株式会社 〒141-0021 東京都品川区上大崎2-15-19 MG目黒駅前3階

©2022 オトモア株式会社
Printed in China <GRA1003-A> (→ 2 ページ目に続きます)

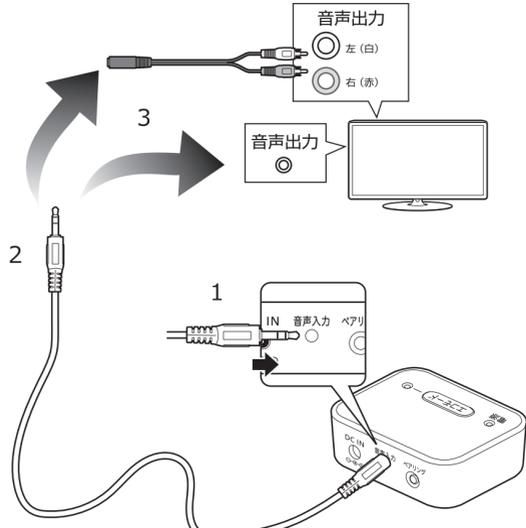
(→ 1 ページ目からの続きです)

テレビと接続する

送信機をテレビの音声出力端子に接続します。テレビがどの出力端子に対応しているかどうかは、テレビの取扱説明書などでご確認ください。

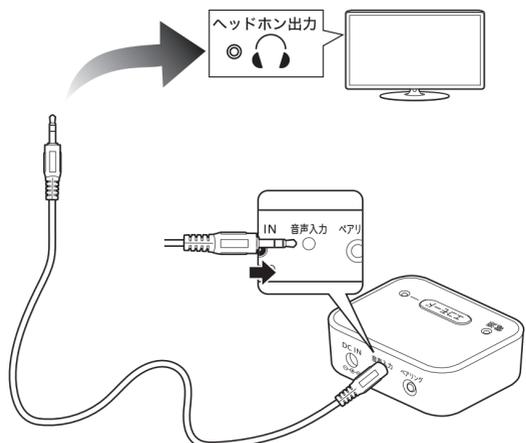


① お手持ちのテレビが音声出力端子に対応している場合



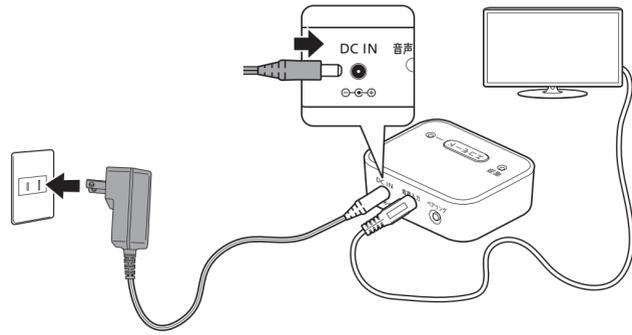
- 付属の接続コード（オーディオケーブル）を送信機の音声入力端子に接続します。
- 接続コード（オーディオケーブル）の反対側を付属の変換コードに接続します。
 - お手持ちのテレビに赤白の音声出力端子がない場合は、変換コードを使用せずにテレビのミニジャック出力端子に接続コードを接続してください。
- テレビの赤白の音声出力端子に接続します。
 - テレビによって、端子名称は「音声出力」、「モニター出力」、「OUTPUT」など異なります。
 - テレビには同じ形をした入力端子もありますので、間違えないように表示をよくご確認ください。
 - テレビ側で設定をしないと音声を出力できない場合がありますので、テレビの取扱説明書をご確認ください。

② お手持ちのテレビが音声出力端子に対応していない場合



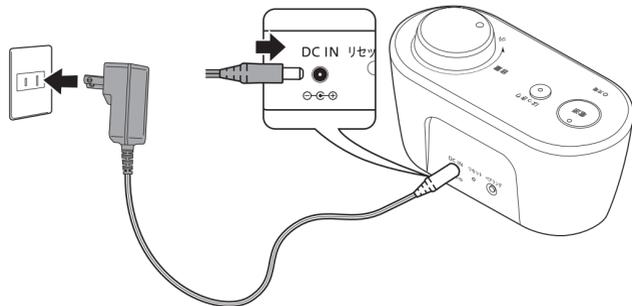
- 付属の接続コード（オーディオケーブル）を送信機の音声入力端子に接続します。
- 接続コード（オーディオケーブル）の反対側をヘッドホン出力端子に接続します。
 - 音声出力が小さい場合は固定ゲイン大モードに設定してお使いください。詳しくは「音声入力信号に合わせたゲイン（利得）設定に切り換える」の項目をご確認ください。
 - テレビによっては、テレビからは音声が出せなかったり、テレビ側で設定を変更しないと音声を出力できない場合があります。テレビの取扱説明書をご確認ください。

送信機の電源を接続する



送信機とテレビの接続が完了したら、送信機に付属のACアダプターを接続してください。ACアダプターは送信機のDC IN端子に接続したあとで、コンセントに接続してください。ACアダプターを抜くときは先にコンセントから抜いてください。

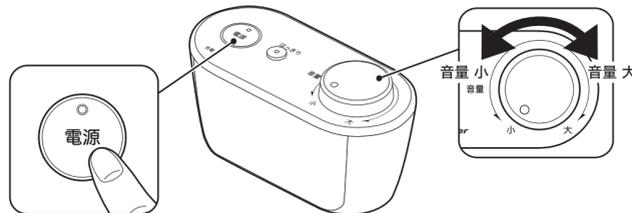
スピーカー（受信機）を充電する



スピーカー（受信機）を初めてお使いになるときは、最初に付属のACアダプターで内蔵バッテリーを充電してください。付属のACアダプター以外では充電しないでください。

- 付属のACアダプターのケーブルをスピーカー（受信機）のDC IN端子に接続します。
- ACアダプターを電源コンセントに接続すると、スピーカー（受信機）の充電ランプが赤色で点灯します。充電には最大約5時間かかります。充電が完了すると充電ランプが消灯します。
 - スピーカー（受信機）は充電しながら使用することもできます。
 - 長期間使用しないときでも、内蔵充電式電池を保護するため、半年に一度は充電を行うようにしてください。放置しすぎると充電式電池の持続時間が短くなったり、充電しなくなる恐れがあります。
 - 本製品を充電する際は、直射日光を避け、風通しの良い場所（5～35℃）で充電してください。

本機の使いかた



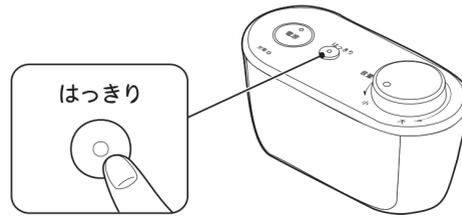
- テレビの電源を入れます。
- スピーカー（受信機）の電源ボタンを押します。「電源が入りました」のアナウンスが流れ、電源がオンになり、電源ランプが青色で点灯します。
 - 送信機と接続できない場合、電源ランプが点滅します。
 - 電源がオンする際、はっきりランプが一度点滅します。
- スピーカー（受信機）からテレビの音声が聞こえるか確認します。音量が大きいまたは小さい場合は、スピーカー（受信機）のボリュームノブで調整してください。
 - 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となる恐れがありますので、ボリュームノブは小から徐々に大きくしてください。
 - スピーカー（受信機）は満充電の場合、最大約10時間の連続再生が可能です。
- 使い終わったら、スピーカー（受信機）の電源ボタンを押します。「電源を切ります」のアナウンスが流れ、電源がオフになり、電源ランプが消灯します。
 - 10分間テレビから音声入力信号がない場合、本機の電源は自動でオフになります。

快テレ君とテレビの両方から音声を出す方法

「スピーカー出力切換」など、テレビ側の音声をON/OFFできるテレビでは、快テレ君とテレビの両方から音声を出すこともできます。詳しくはお使いのテレビの取扱説明書をご確認ください。

- テレビに付属のリモコンを使用して設定してください。
- テレビの機種によって、テレビから音声が出せない製品があります。
- 設定方法が分からない場合は、ご使用のテレビメーカーに「ヘッドホンとテレビのスピーカーから同時に音を出す方法」をお問い合わせください。
- 音声出力が小さい場合は固定ゲイン大モードに設定してお使いください。

はっきり音機能



テレビで流れているセリフを聞き取りやすく補正します。はっきり音機能は、出荷時はオンになっています。はっきり音機能がオンになっているときは、はっきりランプが橙色に点灯します。スピーカー（受信機）のはっきりボタンを押すと機能をオフにできます。

音声入力信号に合わせたゲイン（利得）設定への切換え

テレビからの音声信号は、接続端子や音源によって信号の大きさが異なります。音声入力信号の大きさに合わせてゲイン（利得）設定を切り換えることができます。出荷時は自動ゲインモードに設定されています。

<設定モード>

自動ゲインモード：

音声入力信号に応じて、一定の信号の大きさに自動で利得調節します。

固定ゲイン小モード：

音声入力信号の利得を固定値に抑制することができます。DVD等のメディアを再生したときなど、音声入力信号が大きくスピーカーユニット(受信機)の音が歪むまたはワフワフするときにご使用ください。

固定ゲイン大モード：

音声入力信号の利得を固定値に増幅することができます。ヘッドホン出力端子に接続したときなど、音声入力信号が小さくスピーカーユニット(受信機)の音量を大きくしても十分な大きさにならないときにご使用ください。

- 音声信号とともにノイズも増幅されて大きく聞こえることがあります。ノイズが気になる場合は、エコモードをオンにするとノイズを低減できます。
- エコモードをオンにすると無線到達範囲が狭くなります。

<操作手順>

- 送信機のペアリングボタンを押しながら、送信機のACアダプターをコンセントに接続します。ゲイン（利得）設定の選択モードになります。
- 送信機のペアリングボタンを押します。ペアリングボタンを押すたびに、以下の順にモードが切り換わります。
 - 自動ゲインモード（エコモードランプが消灯） ←
 - 固定ゲイン小モード（エコモードランプが点灯） ↓
 - 固定ゲイン大モード（エコモードランプがゆっくり点滅） →
- モードを選んだら、エコモードボタンを押します。選択モードが終了します。
 - 操作をしない状態が1分間経っても、選択モードは自動で終了します。

スピーカー（受信機）の再起動



スピーカー（受信機）の動作が不安定な場合などに、リセットボタンを押すことでスピーカー（受信機）の状態をリセットできます。先の細い棒状のものなどでスピーカー（受信機）背面のリセットボタンを押してリセットしてください。リセット後に電源ボタンを押すと、スピーカー（受信機）が再起動します。

送信機とスピーカー（受信機）をペアリングする

本機は購入時、ペアリングされた状態で出荷されていますが、通信が不安定な場合などは、一度ペアリングの解除を行い、再度ペアリングしてください。また、本機(VS-T300)を追加でご購入された場合には、すでに使用されている送信機に追加でペアリングが可能です。

追加する際は、必ず送信機とのペアリングを一度解除してから、ペアリングを行ってください。最大10台まで同時に接続、使用することが可能です。

ペアリングを解除する

再ペアリングを行ってもペアリングに失敗する場合は、以下の手順で一度ペアリングを解除してください。その上で、再度ペアリングを行ってください。

- 送信機とスピーカー（受信機）の電源をオンにします。
- 送信機のペアリングボタンを約2秒間長押しします。電源ランプが早く点滅します。
- エコモードボタンを約2秒間長押しします。電源ランプとエコモードランプが点灯します。
- 送信機のペアリングボタンを押します。電源ランプが消灯し、エコモードランプが早く点滅すると、ペアリングが解除されます。

ペアリングを行う

送信機とスピーカーユニット（受信機）の電源がオンの状態で次の操作を行ってください。

- 送信機のペアリングボタンを約2秒間長押しします。
 - ※約2分間経つとペアリングモードは自動で解除されます。
- スピーカー（受信機）のペアリングボタンを約2秒間長押しします。
- ペアリングに成功すると、送信機とスピーカー（受信機）の電源ランプが点滅から点灯に切り換わります。

故障かなと思ったら

故障かなと思ったら、次の項目をチェックしてみてください。また、本機以外の原因も考えられます。お使いの接続機器も合わせてお調べください。次の項目にしたがって、再度点検しても直らない場合は、お買い求めの販売店またはお問い合わせ窓口にご相談ください。

症状	処置
スピーカー（受信機）の電源が入らない	● スピーカー（受信機）のバッテリーを充電する。
音が出ない	● テレビ、付属のACアダプターが送信機と正しく接続されているか確認する。 ● テレビの電源を入れて、テレビスピーカーから音声が聞こえるかを確認する。 ● スピーカー（受信機）と送信機両方の電源がはいつているか確認する。 ● スピーカー（受信機）の電源を入れても電源ランプが点灯しない場合は充電する。 ● 送信機の電源ランプが点灯しているか確認する。消灯している場合、ACアダプターが接続されているか確認する。 ● テレビまたはスピーカー受信機)の音量を上げる。音量を上げても音声が聞こえないときは、音量を下げてから他の項目を確認する。 ※音量を上げたまま音を出すと、耳を傷めるおそれがあります。 ● 送信機の位置を変更する。 ● 送信機の近くにスピーカー（受信機）を設置して使用する。 ※上記の処置を行っても音が出ない場合は、再度ペアリングを行ってください。
音がとぎれる ノイズが聞こえる	● テレビと送信機が正しく接続されているか確認する。 ● 送信機のエコモードがオン（ランプ点灯または点滅）になっていないか確認する。 ● エコモードがオンになっている場合はオフにする。 ● 送信機とスピーカー（受信機）の間に障害物を置いていないか確認する。障害物がある場合、障害物のない状態で使用する。 ● スピーカー（受信機）のバッテリーを充電する。
「ジュー」というノイズが聞こえる	● 送信機のゲイン（利得）設定が固定ゲイン大モードに設定されていないか確認する。 ● 送信機のエコモードがオフになっていないか確認する。ゲイン（利得）設定が固定ゲイン大モードに設定されていると、ノイズも大きくなる場合があります。この場合、エコモードをオンにするとノイズが低減できます。
CSデジタル放送（特定チャンネル）の画像が乱れる	● CSデジタル放送のアンテナ伝送路（分波器、分配器、接続ケーブル）のシールドが不十分な場合、本機の電波がCSデジタル放送のアンテナ伝送路に混入して、CSデジタル放送の画像が乱れる原因になることがあります。シールド性の高い衛星放送対応の分波器や分配器、接続ケーブルをお使いいただくことで影響を軽減できる場合があります。

仕様

■送受信システム

通信方式 TDD/TDMA
 使用周波数 1 895.616 MHz ~ 1 904.256 MHzの帯域
 最大到達距離 約100 m

■スピーカー（受信機）

実用最大出力 1 W（モノラル）
 使用スピーカー φ50 mm、インピーダンス8Ω
 電源入力 DC 5 V 2 000 mA（付属のACアダプターを使用）
 内蔵電池 DC 3.7 V（1 800 mAh）リチウムイオン電池
 連続再生時間 最大約10時間
 充電時間 最大約5時間
 寸法（幅×高さ×奥行） 約 151 mm × 83 mm × 71 mm
 質量 約 260 g
 使用温度範囲 5℃～35℃

■送信機

音声入力 φ3.5 mm ステレオミニジャック
 電源入力 DC 5 V 2 000 mA（付属のACアダプターを使用）
 寸法（幅×高さ×奥行） 約 65 mm × 23 mm × 52 mm
 質量 約 40 g
 使用温度範囲 5℃～35℃